

プロパンガスは、正しく使用しましょう。 「安全点検」無事故で笑顔の楽しい暮らし…

販売店はあなたの安全・安心のパートナーです

◆新築・改装・転居などで新しくガスを使用する時、またガス使用が中止の場合は、必ず販売店に連絡してください。

◆その年の設備については、新築交換のついでにLPガス販売店が点検を行います。

またお買物に、

お客さまの全ての

設備について

点検・調査をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

◆ストーブなどの

季節的器具で

使ったり、窓の外に

設置するときは、

販売店に相談してください。



ガスが漏れたときは、すばやい対応を

◆室内の火気全部消し、マッチをすったろうそく口などを燃やさない。

◆換気扇・ガスの元栓などを確認してください。

◆焼いた調理品などは、コンセントや電熱のスイッチには触れず、換気扇は

絶対に止まらな

い、目撃してい

ない場合は、警

察員に連絡し

ておきましょう。

◆とびやが屋など

を十分に換気で

換気し、また、

ガスを自然に逃

がします。

◆販売店に連絡を

して、点検を要

するまでガス

を使わないよう

にしましょう。



いつも青い炎で使いましょう

◆ガスコンロの青い炎は、お風呂や給湯口の結露やなどは、完全燃焼を促し、一酸化炭素中毒の要因にもなる大変危険です。時々、ブルーなどで燃焼してください。

◆完全燃焼＝安定

した青い炎で燃

えがります。

◆不完全燃焼(空

気不足)＝黄赤

色の炎で、ゆら

ゆらとして燃い

やすく燃えません。

◆不完全燃焼(空

気過多)＝コー

ーの音をばらば

らと燃えて消え

ることがあります。



火がついたことを必ず目で確かめましょう

◆自動消火の器具は、つまみをゆっくり回すように、ボタンはゆっくり押しましょう。

◆マッチなどで点検する場合は、マッチなどに点検してから器具を確認してください。

◆窓や換気扇などで火が燃えたり、炎の音を聞いたりするときなど、隣の住人がつ

くことがあ

ります。ガスを使

っているとき

は、その場を離

れなければな

いようにしま

う。燃れるとき

は、火を消すま

まじ、燃えやす

いものを燃や

ないようにし

ましょう。



火災や地震など、災害の時はあわてずに

◆火災の際は、騒動パンプを開め、消防署員などに避難の位置を知らせ、後の対応を待つてください。

◆地震の時は、火を全部消し、器具栓・ガスの元栓を確認してください。ゆれる大

きなときは、騒

動パンプを開

めてください。

◆火災の際は、

騒動パンプを開

め、音割れが

れたら、流れた

りしないよう

にロープなどで

固定してくだ

さい。

◆災害があったと

きは、販売店

まで連絡してく

ださい。



器具栓・ガスの元栓は完全に閉めましょう

◆おやすみになる前や、外出の際は、器具栓・ガスの元栓が閉まっているか、もう一度確認しましょう。

◆強い風が吹きさらす場合は、ガスメーターバルブや騒動パンプを開き、販売店

に連絡してく

ださい。

◆使用していない

ガスの元栓には、

ゴムキャップを

つけてください。

◆ニューズコック

を閉付きましょう。

（ゴム蓋が

取れたら、取

れたときにガス

の漏れを防

ぎます。）

◆器具栓・ガスの

元栓は完全に

